

飯舘村放射能エコロジー研究会 (IISORA) 福島シンポジウム 2013 年秋

原発災害と生物・人・地域社会への 影響と克復の途を探る

共同世話人 今中哲二、糸長浩司、小澤祥司

日 時：2013 年 11 月 17 日 (日) 10:00 ~ 17:30

場 所：福島県青少年会館大研修室 (収容人数 200 名程度)

参加費：無料 (どなたでも参加いただけます)

3.11 以前の飯舘村



村の情景



牛の放牧



稲干し

3.11 以降



ベラルーシから小学校の先生とお医者さまを迎えての勉強会



対話による美術鑑賞の創始者アメリカ・アナレスさんを迎えてのワークショップ



放射能公害による避難生活と復興に関する対策検討ワークショップ (RING!RING! プロジェクト助成)

主 催：飯舘村放射能エコロジー研究会

共 催：NPO 法人エコロジー・アーキスケープ

協力団体：飯舘村後方支援チーム、飯舘村写真展実行委員会、京都大学原子炉実験所原子力安全研究グループ、(50 音順)

原子力資料情報室、原発事故被災者相双の会、国際環境 NGO FoE ジャパン、

世界自然保護基金 (WWF) ジャパン、市民エネルギー研究所、

東京大学大学院新領域創成科学研究科鬼頭研究室、日本大学生物資源科学部糸長研究室、

農村計画学会、BIOCITY、ふえみん、北海道大学スラブ研究センター家田研究室

お問い合わせ / IISORA 福島シンポジウム事務局 email : sympo@iitate-sora.net

プログラム

<開会あいさつ> 10:00 - 10:10

<第1部>放射能の生物影響と初期被曝評価

.....座長：NPO 法人エコロジーアーキスケーブ 小澤祥司

10:10 - 12:30

- 稲への影響／飯館村での実験を通して.....筑波大学 ランディーブ・ラクワール
- 飯館村民らによる山菜・食品等の放射能汚染調査.....いいたてふぁーむ 伊藤延由
- 家畜、野生動物への影響.....東北大学 漆原佑介
- 飯館村民を対象とした初期被曝量評価の試み.....京都大学 今中哲二
- 質疑応答

昼食休憩 12:30 - 13:30

<第2部>生活・コミュニティ再建と複合まちづくり

.....座長：國學院大學 菅井益郎

13:30 - 16:00

- 飯館の住宅内の放射能汚染の実態.....日本大学 糸長浩司
- 飯館村民の生活再建・復興への思い
.....村民WSの中間発表 NPO 法人エコロジーアーキスケーブ 浦上健司
.....村民からの報告
.....子供支援活動（「いいたての子どもを守る会」等）
- 福島市民と飯館村民による共同のまちづくり.....飯館村民、福島市民
- 二本松市での複合まちづくりの試み.....早稲田大学 佐藤滋

休憩 16:00 - 16:20

16:20 - 17:30

- 生活・コミュニティ再建と複合まちづくりの総合討論モデレーター 糸長浩司

○福島県青少年会館

〒960-8153 福島県福島市黒岩字田部屋 53 番 5 号

